

若者・女性就労支援事業ワークショップ



明政会
さいじょう
西條
とみ お
富雄

その他の質問事項

- ▼ 移住・定住促進事業について
- ▼ 農産物共同集配事業「やさいバス」について

◆新しい働き方「ワーケーション」の推進

問 観光都市塩尻市を活用して、旅先で仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を両立させる、新しい働き方「ワーケーション」への取り組みについて市の考え方は。

答 交通の要衝の本市において、技術普及や生産性向上へのニーズから、働き方の多様化に適える環境づくりに取り組んでいく。

◆「短歌に出会えるまち、塩尻」の取り組み

問 「えんてらす」起点の「短歌の小径」の整備について市の考え方は。

答 「短歌の小径」の整備は終了するので、今後は、短歌に関する事業や講座を開催するなど短歌文化の醸成に努めていく。

◆博物館を中核として、地域活性化を狙って、文化庁が創設する支援制度

問 文化庁は、訪日外国人客らを、呼び込む観光拠点として各地の魅力ある博物館を認定し必要経費を支援する制度を2020年度に新設するが、市の考え方は。

答 東京2020オリンピック等の開催を控え、今後見込まれる多くの訪日外国人観光客らに対応するためにも、新設制度への取り組みについて研究していく。

問 文化庁の認定制度は、平出博物館をはじめとする市内文化施設を含めた博物館像を検討する上で、助け舟にならないか、市の考え方は。

答 「博物館クラスター推進事業」と連携して博物館を中核とした地域活性化に向け、検討する。



新設された短歌の小径と案内板

介護施設整備進まず！人材不足どう対応？



新政会
ひぐち ちよこ
樋口千代子

その他の質問事項

- ▼ 新たな外国人受入れ制度「特定技能」について
- ▼ 地域で支える体制づくりについて

◆第7期介護保険事業計画進捗状況

問 入所施設サービスでは、一部計画が進んでいない施設整備、ユニットが開設できない事業所があると聞いているが、その現状と要因は。

答 認知症対応グループホーム、2ユニットの整備が進んでいない。また、5月開設した特別養護老人ホームではユニット施設に至らない部屋もある。介護人材の不足が本市にも大きな影響を与えていると憂慮している。

問 在宅生活が困難になった時、多くの方は施設入所を希望する。本市は今後施設整備をしなくても受け皿は大丈夫と判断しているのか。

答 国や他市町村の状況を見る中で適切な整備量となるよう計画する。
要望 市民の皆さんの目線に立って次期介護保険事業計画策定を要望。



日本語を学ぶ「外国人技能実習生」

◆介護人材の確保

問 介護人材不足対策として政府が最も力を入れようとしているのが「外国人人材の活用」である。市内事業所の「外国人技能実習生」の受入れ状況は。

答 市内の事業所では、平成会で現在1名、来春から4名を新たに迎える。サン・ビジョンでは14名の方が実習生として働いている。

要望 加速する高齢社会を考慮すると、もはや待ったなしの状況である。外国人の受入れは積極的に進めていかなければと思う。各事業所の実態を把握され、支援に力を入れていただきたい。